

経済社会総合研究所の概要と実績

(2012年4月～2013年5月)

1. 所掌事務等

経済社会総合研究所 (Economic and Social Research Institute: 以下 ESRI という) は、中央省庁再編の一環として従来の経済企画庁経済研究所の機能、規模を拡充して 2001 年 1 月に発足した内閣府の機関です。内閣府は重要課題を担当する「知恵の場」ですが、ESRI は内閣府のシンクタンクとして理論と政策の橋渡しを担う、言わば「知恵の場」の中の「知恵の場」といえます。

ESRI の主要な任務として、経済活動、経済政策、社会活動等に関わる理論及び実証研究を行い、政策研究機関としての機能強化を図るとともに、内部部局と連携し、経済財政諮問会議の審議に資する研究の実施と政策研究を担う人材育成・研修等に取り組んでいます。また同時に、GDP (国内総生産) 統計に代表される一国経済の循環を記録する国民経済計算体系 (SNA: System of National Accounts) の推計作業を行い、四半期毎の GDP 速報 (QE: Quarterly Estimates)、年度毎の確報を公表、さらには、CI (景気動向指数) 等の景気動向統計の作成を行い、公表しています。

2. 主な研究報告

(1) 『経済分析』

第 186 号 「経済分析第 186 号 (ジャーナル版)」2013 年 1 月

[論文] 「外資系企業の参入と国内企業の生産性成長

: 『企業活動基本調査』個票データを利用した実証分析」(伊藤恵子)

「学級規模が学力と学習参加に与える影響」(二木美苗)

「首都直下地震における地方財政への影響: 年次別都県別の推計」(宮崎 毅)

「維持年金平準化と特許のオプション価値」(山田節夫)

「教養娯楽価格が出産に与える影響」(湯川志保)

「夫の失業前後の妻の就業行動の変化について」(佐藤一磨)

「同族企業における人事・労務管理制度の形成と離職率への影響

— 中小企業に注目して —」(松浦 司・野田知彦)

[資料] 「温暖化対策における国境調整措置の動的応用一般均衡分析」(武田史郎・鈴木 晋・有村俊秀)

(2) ESRI Discussion Paper

No. 297 「企業の輸出行動と金融機関の海外市場情報の役割」

乾 友彦・伊藤恵子・宮川大介・庄司啓史 2013 年 3 月

No. 296 「未婚男性の結婚と家族形成に関する意識について非正社員に焦点を当てた実証分析～「未婚男性の結婚と仕事に関する意識調査」の個票を用いて～」 内野淳子・飯島亜希・高橋智也 2013 年 2 月

No. 295 「子どもを持つ若年層を対象とした幸福度に関する研究」 上田路子・川原健太郎 2013 年 1 月

No. 294 「若年労働市場における教育過剰—学歴ミスマッチが賃金に与える影響—」

乾 友彦・権 赫旭・妹尾 渉・中室牧子・平尾智隆・松繁寿和 2012 年 12 月

No. 293 「Negative Assimilation: How Immigrants Experience Economic Mobility in Japan」

竹中 歩・石田賢示・中室牧子 2012 年 12 月

No. 292 「Measuring the Effects of Monetary Policy: A DSGE-DFM Approach」 飯星博邦 2012 年 10 月

No. 291 「温暖化対策における国境調整措置の動的応用一般均衡分析」

武田史郎・鈴木 晋・有村俊秀 2012 年 10 月

No. 290 「低頻度巨大災害に対する国民の政策選好に関する調査」

永松伸吾・佐藤主光・宮崎 毅・多田智和 2012 年 10 月

No. 289 「ICT の普及が経済の発展と格差に及ぼすグローバルな影響の分析

— 国際的議論の変遷と実態変化のデータ観察 —」 篠崎彰彦・田原大輔 2012 年 8 月

No. 288 「R&D Subsidies, International Knowledge Dispersion,

and Fully Endogenous Productivity Growth」 コーリン デービス・橋本賢一 2012 年 8 月

- No. 287 「東日本大震災が新卒者の賃金に与えた短期的影響について—教育の質の役割に着目して—」
乾 友彦・権 赫旭・妹尾 渉・中室牧子・平尾智隆・松繁寿和 2012年8月
- No. 286 「統計からみた震災からの復興」
樋口美雄・乾 友彦・杉山 茂・若林光次・空閑信憲・細井俊明・池本賢悟・高部 勲・植松良和・
有光建依 2012年4月
- No. 285 「Non-Wasteful Government Spending in an Estimated Open Economy DSGE Model
: Two Fiscal Policy Puzzles Revisited」 岩田安晴 2012年4月

(3) 研究会報告書等

「安全・安心な社会の構築に求められる科学技術イノベーションに関する研究」研究会報告書 2013年4月
「持続可能性指標と幸福度指標の関係性に関する研究」報告書 2012年11月

「インターネット調査報告書(検討用資料)、持続可能性と幸福度 他」、第7回幸福度に関する研究会、2012年9月

「第1回 生活の質に関する調査結果(検討用資料)他」、第6回幸福度に関する研究会、2012年4月

3. フォーラム・ワークショップ

(1) ESRI—経済政策フォーラム (内閣府フォーラム)

第49回 「幸福度・質的成長の測定—新しい社会指標の整備方針を探る—」2012年12月開催

西村周三 国立社会保障・人口問題研究所長
山内直人 大阪大学教授/内閣府幸福度に関する研究会座長
川崎 茂 日本大学教授/元総務省統計局長
吉野諒三 統計数理研究所教授
小谷みどり 第一生命経済研究所主席研究員

(2) 国際フォーラム・国際シンポジウム等

ESRI 国際コンファレンス「日本経済の再生に向けて:グローバル経済における政策の役割」2013年5月開催

リチャード・クーパー	ハーバード大学教授
浜田宏一	内閣官房参与・イェール大学名誉教授
伊藤元重	経済財政諮問会議議員・東京大学教授
伊藤隆敏	東京大学公共政策大学院院長・教授
岩田一政	公益社団法人日本経済研究センター理事長
嘉治佐保子	慶應義塾大学教授
河合正弘	アジア開発銀行研究所所長
中曾 宏	日本銀行副総裁
アダム・ポーゼン	ピーターソン国際経済研究所所長
ジェフリー・サックス	コロンビア大学地球研究所所長・教授
アンドレ・サピール	ブリュッセル研究所上級フェロー・ブリュッセル自由大学教授
ジョセフ・スティグリッツ	コロンビア大学教授
チャロンポップ・スサンカーン	タイ開発研究所特別フェロー
竹中平蔵	慶應義塾大学教授 グローバルセキュリティ研究所所長
若田部昌澄	早稲田大学教授
吉川 洋	東京大学教授

日・ブータン共同研究・合同ワークショップ「幸福度を活かした政策決定と地域創造」2013年3月開催

・「GNHと政策決定—将来への課題」(ブータンセッション)

カルマ・ウラ (基調講演) 王立ブータン研究所長
サンゲ・ティンレイ 王立ブータン研究所研究員

山内直人	大阪大学大学院教授
福永正明	岐阜女子大学南アジア研究センター客員教授
上田晶子	大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任准教授
御手洗瑞子	初代ブータン首相フェロー

・「幸福度を活かした地域創造」(地域創造セッション)

椎川 忍	総務省地域力創造アドバイザー・内閣官房地域活性化伝道師
笠松和希	徳島県上勝町長
豊重哲郎	鹿児島県鹿屋市串良町柳谷公民館長
中山 泰	京都府京丹後市長
西川太一郎	東京都荒川区長

ESRI-JCER 国際カンファレンス「経済予測の精度と活用への課題」2013年2月開催

- ・開会挨拶 新井淳一 日本経済研究センター顧問
- ・パネルディスカッション「経済予測調査等のサーベイ調査の活かし方：政府・企業・家計における活用」

小峰隆夫	法政大学教授
中島精也	伊藤忠商事(株) チーフエコノミスト
竹田陽介	上智大学教授
村田啓子	首都大学東京教授
Victor Lopez Perez	欧州中央銀行エコノミスト

・研究報告 第1セッション

議長：浅子和美 一橋大学教授

報告(1)「Density Forecast の評価と ESP フォーキャストへの応用」

伴 金美	大阪大学教授
河越正明	内閣府経済社会総合研究所特別研究員
松岡秀明	JCER 副主任研究員

報告(2)「Can macroeconomists forecast risk? Event-based evidence from the Euro Area SPF」

Kenny Geoff 欧州中央銀行調査局課長代理

報告(3)「我が国家計のインフレ期待形成における異質性とバイアス」

難波了一	内閣府経済社会総合研究所景気統計部
上野有子	内閣府経済社会総合研究所景気統計部

・研究報告 第2セッション

議長：稲田 義久 甲南大学教授

報告(1)「『美人投票』の数値化：ESP フォーキャストの例」

竹田陽介 上智大学教授

報告(2)「民間機関の景気転換点予測はあてになるのか？」

飯塚信夫 神奈川大学准教授

報告(3)「CEO Challenge: business expectations and global growth」

Andrew Polk The Conference Board エコノミスト

- ・閉会挨拶 梅溪健児 内閣府経済社会総合研究所長

ESRI/NESDB ワークショップ「Economic Policy and Conditions after the great disasters - Lessons from Japanese experience」

2012年8月開催

- ・第1セッション「Lessons from Japanese experience “Economic Policy and Conditions after the Great East Japan Earthquake”」
- プレゼンター： 舘 逸志 (内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官)
- コメンテーター： Porameteetee Vimolsiri (タイ国家経済社会開発庁副長官)

- ・第2セッション「Lessons from Thai experience “Economic Policy and Conditions after the big floods in Thailand”」
プレゼンター: Arkhom Termpittayapaisith (タイ国家経済社会開発委員長官)
コメンター: 野崎謙二 (駿河台大学経済学部教授)
- ・第3セッション「Special report “Study on unemployment rate of Thailand - why the unemployment rate is so low”」
プレゼンター: 熊谷章太郎 ((株) 日本総合研究所調査部マクロ経済研究センター)

「ESRI-NBER Japan Meeting Joint Seminar」2012年6月開催

- ・セミナー1「Illiquid Banks, Financial Stability, and Interest Rate Policy」
Douglas Diamond (シカゴ大学教授)
- ・セミナー2「Estimation of an Empirical FAVAR Model and DSGE Model for Evaluation of Government Expenditure Effects in Japan」
符川公平 (内閣府経済社会総合研究所研究官)
- ・セミナー3「Is there a retirement consumption puzzle in Japan?」
堀 雅博 (一橋大学経済研究所教授)
村田啓子 (首都大学東京大学院社会科学部研究科教授)

Anil Kashyap	シカゴ大学教授
David Cashin	ミシガン大学教授
Douglas Skinner	シカゴ大学教授
Jennifer Corbett	オーストラリア国立大学教授
David Flath	大阪大学社会経済研究所特任教授
加藤隆夫	コルゲート大学経済学部教授
八木橋毅司	オールドドミニオン大学助教授
細野 薫	学習院大学経済学部教授
小林慶一郎	一橋大学経済研究所教授
永瀬伸子	お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科教授
宇南山卓	神戸大学経済学研究科准教授
佐久間隆	日本大学経済学部教授
井上裕行	東京経済大学経済学部教授
飯星博邦	首都大学東京大学院社会科学部研究科教授
西山慎一	東北大学大学院経済学研究科准教授
矢野浩一	駒澤大学経済学部准教授
蓮見 亮	日本経済研究センター研究員
新見陽子	アジア開発銀行エコノミスト
浜田浩児	内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官

4. 研修実績

(1) 経済研修・経済理論研修

2013年

- 5-7月 英文ビジネスライティング研修 (第1回) (初級)
- 5-7月 経済分析等に役立つExcel 技能研修(第1回)
- 5-7月 計量経済分析実習
- 5月 国民経済計算(93SNA)入門
- 4-5月 計量経済分析入門
- 1-3月 英文ビジネスライティング研修 (第2回)

1月	SNA 統計研修
2012年	
11-12月	Stata 入門研修 (第2回)
10-12月	英文ビジネスライティング研修 (第1回)
10-12月	国際会議のための英語スキル向上研修(上級コース)
10-11月	計量経済分析(マイクロ・データ分析)
10月	計量経済分析(計量経済モデル)
10月	経済分析等に役立つExcel 技能研修(第2回)
10月	EViews 研修 (中級)
8-2月	EViews 研修 (e ラーニング) (第2回)
7月	Stata 入門研修 (第1回)
6-2月	EViews 研修 (e ラーニング) (第1回)
6月	SAS システム研修
5-7月	経済分析等に役立つExcel 技能研修(第1回)
5-7月	計量経済分析(基本コース)
5月	計量経済分析(入門コース)
5月	国民経済計算(93SNA) 入門

(2) 外国人研修

2013年	
1月	SNA 統計研修 (インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム)
2012年	
12月	内閣府の役割と政策 (コートジボワール、コモロ、コンゴ民主共和国、コンゴ共和国、サント・メブリンシペ、ギニア、チャド、チュニジア、モロッコ)
9月	内閣府の役割と政策 (スリランカ)
6-7月	経済政策(アフガニスタン・ガーナ・ザンビア・モンゴル・ミャンマー・インドネシア・タイ・グルジア・マケドニア・リベリア・ベトナム・東ティモール・ウクライナ・タンザニア・イラク・パキスタン)

5. 国際共同研究プロジェクト

<平成24年度国際共同研究プロジェクト>

2013年

4月	日中韓国際共同研究報告書「世界経済の構造変換が東アジア地域に与える影響」		
	(日本)	座長	竹森俊平 慶應義塾大学経済学部教授
			岩本武和 京都大学大学院経済研究科教授
			松林洋一 神戸大学大学院経済研究科教授
			戸田淳仁 リクルートワークス研究所研究員
	(中国)		趙晋平 中国国务院発展研究センター対外経済研究部副部長
	(韓国)		朴相俊 早稲田大学国際教養学部教授

3月 国際共同研究「マイクロシミュレーションを用いた若手の雇用環境に係る研究」(東京)
報告(1)「An Analysis of Family Transfers: Theory and Evidence」
Kathleen McGarry (カリフォルニア大学ロサンゼルス校 教授)

報告(2)「Short and Medium-Term Projections of Household Income in Ireland using a Spatial
Microsimulation Model」
Cathal O' Donoghue (アイルランド農業振興・食品開発局地域経済研究センター所長)

報告(3)「初職正規男性の早期転職をめぐる一考察」
白石浩介(三菱総合研究所主席研究員)

報告(4)「生涯所得の分布に対する格差の固定性の影響」
浜田浩児(内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官)

報告(5)「初職の違いがその後の人生に及ぼす影響: LOSEF 個票データを用いた分析」
小塩隆士(一橋大学経済研究所教授・世代間問題研究機構機構長)
稲垣誠一(一橋大学経済研究所教授)

報告(6)「高齢者の同居家族の変容と貧困率の将来見通し—結婚・離婚行動変化の影響分析」
稲垣誠一(一橋大学経済研究所教授)

- 2月 国際共同研究報告会 第5回 ESRI-CEPREMAP 共同ワークショップ「DSGE モデルの政策分析への応用」
- 報告(1)「Stochastic Extended Path」(S. Adjemian 氏との共著)
発表者: Michel Juillard フランス銀行アドバイザー兼 CEPREMAP シニアリサーチャー
討論者: 松前龍宜 経済社会総合研究所主任研究官
- 報告(2)「Sources of Great Recession: A Bayesian Approach of a Data Rich DSGE Model with Time-Varying-Volatility Shocks」(松前龍宜氏、西山慎一氏との共著)
発表者: 飯星博邦 首都大学東京教授兼経済社会総合研究所客員主任研究官
討論者: 沖本竜義 一橋大学准教授
- 報告(3)「The Dynamic General Equilibrium Performance of Alternative Policy Rules under Imperfect Observability and Survey-Consistent Expectations」
発表者: Hess Chung 連邦準備制度理事会(FRB)エコノミスト
討論者: 楡井 誠 一橋大学准教授
- 報告(4)「ToTEM II: An Updated Version of the Bank of Canada's Quarterly Projection and Policy Analysis Model」
発表者: Jose Dorich カナダ銀行主席研究員
討論者: 小枝淳子 東京大学特任講師
- 報告(5)「What drives the recent fluctuations of Japan's output? A structural factor analysis on Japans industrial productions」
発表者: 武藤一郎 日本銀行調査統計局企画役
討論者: 西山慎一 東北大学准教授

6. その他

(1) 学会等における報告

2013年

3月 飯星博邦 客員主任研究官” Sources of Great Recession: A Bayesian Approach of a Data Rich DSGE Model with Time-Varying Volatility Shocks”, 松前龍宜 主任研究官・西山慎一 客員研究員と共著, Western Economic Association International, 慶応大学

中本 淳 研究協力者” Tax Distortions and Intergenerational Redistribution in an Overlapping Generations Model”, 難波了一 特別研究員・小川貴之 元主任研究官と共著, Western Economic Association International, 慶応大学

村田啓子 客員主任研究官” Is there a retirement consumption puzzle in Japan?”, 堀 雅博 客員主任研究官と共著, Western Economic Association International, 慶応大学

飯星博邦 客員主任研究官” Sources of Great Recession: A Bayesian Approach of a Data Rich DSGE Model with Time-Varying Volatility Shocks”, 松前龍宜 主任研究官・西山慎一 客員研究員と共著, 国際カンファレンス “Frontiers in Macroeconometrics”, 一橋大学

岩田安晴 客員主任研究官” Two Fiscal Policy Puzzles Revisited: New Evidence and an Explanation”, 「日本経済における財政の維持可能性に関する数量的分析」研究会, 京都大学

矢野浩一 客員研究員” Zero Lower Bounds and a Stackelberg Problem: A Stochastic Analysis of Unconventional Monetary Policy”, 「マクロ経済動学と非線形数理」研究会, 京都大学

2012年

12月 松前龍宜 主任研究官” An Alternative Explanation for Japan’s Lost Decade: DSGE Analysis of the Long-run Stagnation Model”, 難波了一 特別研究員・小川貴之 元主任研究官・小野善康 前所長と共著, 「国際経済とマクロ動学の経済分析コンファレンス」, ESRI

11月 松前龍宜 主任研究官” An Alternative Explanation for Japan’s Lost Decade: DSGE Analysis of the Long-run Stagnation Model”, 難波了一 特別研究員・小川貴之 元主任研究官・小野善康 前所長と共著, 大阪大学グローバルCOE「ダイナミクスと選好の経済分析コンファレンス」, 大阪府

10月 山内直人 客員主任研究官 From Busan to New Delhi, 第4回 OECD 統計、知識及び政策に関する世界フォーラム, ニューデリー, インド

山内直人 客員主任研究官 “Well-being of the Elderly in Japan”, in the Session 3c: Caring for the Elderly, 第4回 OECD 統計、知識及び政策に関する世界フォーラム, ニューデリー, インド

亀坂安紀子 客員主任研究官” Effects of the Great East Japan Earthquake on Subjective Well-being”, in the Session 4b: Lowering vulnerability to disasters and conflicts, 第4回 OECD 統計、知識及び政策に関する世界フォーラム, ニューデリー, インド

岩本光一郎 客員研究官・堀 雅博 客員主任研究官” Lifetime Labor Income and the Erosion of Seniority-Based Wages in Japan: Evidence Based on Administrative Data Records”, 日本経済学会秋季大会, 九州産業大学

9月 桑原 進 上席主任研究官” Quality of Life Survey in Japan”, Invited presentation, UNESCAP Sub-Regional Workshop on Inclusive and Sustainable Development in East and North-East Asia: Strengthening National Capacity to Produce and Use Statistical Information, 北京

8月 矢野浩一 客員研究員” Time-varying Analysis of Dynamic Stochastic General Equilibrium Models Based on Sequential Monte Carlo Methods”, Computational Statistics 2012, リマソール, キプロス

7月 岩田安晴 客員主任研究官” Non-Wasteful Government Spending in an Estimated Open Economy DSGE Model: Two Fiscal Policy Puzzles Revisited”, マクロモデル研究会, 日本経済研究センター

松前龍宜 主任研究官” How Bad was Lehman Shock?: Estimating a DSGE model with Firm and Bank Balance Sheets in a Data-Rich Environment”, 西山慎一 客員研究員・飯星博邦 客員主任研究官・難波了一 特別研究員と共著, Japanese-European Bayesian Econometrics and Statistics Meeting, 千葉大学

矢野浩一 客員研究員” Time-varying Analysis of Dynamic Stochastic General Equilibrium Models Based on Sequential Monte Carlo Methods”, Japanese-European Bayesian Econometrics and Statistics Meeting, 千葉大学

6月 飯星博邦 客員主任研究員” Measuring the Effects of Monetary Policy: A DSGE-DFM Approach”, 日本経済学会春季大会, 北海道大学

西山慎一 客員研究員” How Bad was Lehman Shock?: Estimating a DSGE model with Firm and Bank Balance Sheets in a Data-Rich Environment”, 飯星博邦 客員主任研究員・松前龍宜 主任研究員・難波了一 特別研究員と共著, カナダ経済学会, カルガリー大学

桑原 進 上席主任研究員,” CONCLUDING STATEMENT ON THE ASIA-PACIFIC CONFERENCE ON MEASURING WELL-BEING AND FOSTERING THE PROGRESS OF SOCIETIES”, 第9回OECD統計委員会, パリ

(2) 外部学術誌への掲載論文 (*印は査読付)

*Yasuharu Iwata “Two Fiscal Policy Puzzles Revisited: New Evidence and an Explanation,” Journal of International Money and Finance, 2013年, vol. 33, pp. 188-207.

*関沢洋一・桑原 進「感情が消費者態度に及ぼす影響についての予備的研究」行動経済学, 2013年5月, Vol. 5 (2012) p. 118-136

*村田啓子・濱秋純哉・堀 雅博「退職一時金の実態と決定要因：アンケート個票を用いた実証分析」, 首都大学東京大学院社会科学部研究科経営学専攻経営学会, 『経営と制度』 2013年3月号

*Koichiro Iwamoto. “Habit Formation in Household Consumption: Evidence from Japanese Panel Data,” Economics Bulletin, 2013年, Vol. 33, No. 1, pp. 323-333.

*Jyunya Hamaaki, Masahiro Hori, Saeko Maeda, Keiko Murata. “Changes in the Japanese Employment System in the Two Lost Decades,” Industrial and Labor Relations Review, 2012年10月, Vol. 65, No. 4

岩本光一郎・堀雅博「年功賃金制の劣化と生涯所得—おんきん定期便の個人履歴情報に基づく分析」『年金と経済』 2012年10月, Vol. 31, No. 3

*Masahiro Hori, Satoshi Shimizutani. “Do Households Smooth Consumption over Anticipated Income Changes? Evidence from Bonus Payments to Public Employees in Japan,” Journal of the Japanese and International Economies, 2012年9月, Vol 26, Issue 3

*Ryu-ichiro Murota, Yoshiyasu Ono. “Zero Nominal Interest Rates, Unemployment, Excess Reserves and Deflation in a Liquidity Trap,” Metroeconomica, 2012年5月, vol. 63, issue 2, P. 335-P. 357.

(3) 書籍等

小野善康・橋本賢一編著『不況の経済理論』 岩波書店 2012年8月

Yoshiyasu Ono. “Stagnation Dynamics and Keynes’ General Theory,” Chapter 5 in Keynes and Modern Economics, ed. by Ryuzo Kuroki, London:Routledge, 2012年7月, P. 117-P. 134.

『経済分析』最近号

第 186 号 (2012 年 1 月)

- [論文] 外資系企業の参入と国内企業の生産性成長
：『企業活動基本調査』個票データを利用した実証分析 (伊藤恵子)
学級規模が学力と学習参加に与える影響 (二木美苗)
首都直下地震における地方財政への影響：年次別都県別の推計 (宮崎 毅)
維持年金平準化と特許のオプション価値 (山田節夫)
教養娯楽価格が出生に与える影響 (湯川志保)
夫の失業前後の妻の就業行動の変化について (佐藤一磨)
同族企業における人事・労務管理制度の形成と離職率への影響
—中小企業に注目して— (松浦 司・野田知彦)
- [資料] 温暖化対策における国境調整措置の動学的応用一般均衡分析 (武田史郎・鈴木 晋・有村俊秀)

第 185 号 (2011 年 10 月)

- [論文] 輸入競争と集積が雇用・工場閉鎖に及ぼす影響について (乾 友彦・枝村一磨・松浦寿幸)
総合学科設置(コンプリヘンシブ・カリキュラム)が高等学校生徒の中退行動に与えた影響の計量
分析 (荒木宏子)
相対所得が出生に与える影響 (松浦 司)
- [研究ノート]
外国人研修生・技能実習生受入企業の賃金と生産性に関する一考察 (橋本由紀)
情報化とサービス化の産業連関分析 (塚原康博)
- [資料] バブル/デフレ期の日本経済と経済政策研究—オーラル・ヒストリーに見る時代認識— (石川知宏)

第 184 号 (2011 年 1 月)

- [論文] 世界同時不況による日本の貿易への影響：貿易統計を利用した貿易変化の分解 (伊藤万里)
設備投資のタイミングと不確実性 (嶋 恵一)
雇用主の性別役割意識に関する実証分析
—雇用主が持つのは「好みによる差別」意識か、「固定観念」か— (安田宏樹)
Structural FAVAR による世界景気の要因分析 (竹内文英)
応益課税としての固定資産税の検証 (宮崎智視・佐藤主光)
首都直下地震がマクロ経済に及ぼす影響についての分析 (佐藤主光・小黒一正)
- [資料] 『家族関係、就労、退職金及び教育・資産の世代間移転に関する世帯アンケート調査』の概要
(堀 雅博・濱秋純哉・前田佐恵子・村田啓子)

経済分析 No. 187

発行日 平成 25 年 6 月 28 日 発行
編集者 『経済分析』編集委員会
発行者 内閣府経済社会総合研究所
〒100-8970
東京都千代田区霞が関 3-1-1
電話 03(3581)0919

THE KEIZAI BUNSEKI
(THE ECONOMIC ANALYSIS)

No. 187

June 2013

Estimation of households' preferences for reforms in employee public pension plan
in Japan

Tomoki KITAMURA
Kunio NAKASHIMA

Effect of Executives' Shareholding Ratio on Corporate Scandal Prevention

Yusuke MIYOSHI
Haruhiko TSUZUKI

Analysis of the Male Marriage Premium Utilizing Propensity Score Matching Method

Kazuma SATO

The Resolving of the Entrance-Waiting for the Facilities Service and the Influence of the
Facilities-Function-Differentiation

Yoshimi ADACHI
Nobuo AKAI
Toshio UEMATSU

ESRI International Conference

“Toward Revitalization of the Japanese Economy: The Role of Policy
in the Global Economy”

Economic and Social Research Institute